

第 53 号

発行 令和3年2月3日 富山県総合教育センター 学力向上推進チーム TEL:076(415)6226

E-mail suishin@tym.ed.jp http://gaku.el.tym.ed.jp/

# がんばる富山の 先生を応援!



# アラカルト研修

を、ぜひご利用下さい!

学力向上推進チームは、拠点校の取組事例や全国学力・学習状況調査の問題分析や分析結果にかかる資料等、授業の達人DVD等 の学力向上に関する教育資料を取り揃えています。

学校や市町村教育委員会等の要望に応じて、それらの教育資料を生かし、学力向上の取組に関する疑問や悩みの解消を図ったり、 各学校の創意工夫にあふれた取組の充実を後押ししたりする研修が「アラカルト研修」です。

#### 研修メニューや研修時間は、要望に合わせて調整できます!

研修メニューは1つ当たり30~60分とし、必要なメニューを選んで組み合わせ、学校の要望に応じた研修を行うことができます。

〈例〉【45分コース】短い時間でポイントを絞った研修を!

【60分コース】ワークショップ等を取り入れたアクティブな研修を!

【90分コース】研修メニューを組み合わせた充実した研修を!

#### A 拠点校の取組事例を基に

研修メニュー

①授業づくり、授業改善

(学習課題、学び合い、振り返り、活用する力の育成)

- ②家庭学習、家庭との連携
- ③小中連携
- ④研修体制の充実

# 【これまでの研修例】

・学校の若手教員を対象に、「学び合い」の観点から、子供たちが 授業の中で「関わる」とはどういうことか、どういう子供の姿が 「関わった」といえるのかということを、拠点校の具体的な実践 例を基に考えました。

ペア、グループ等の学習を、どのような目的で行うのかということや、 その中で、子供たちの関わりをどうやって生み出していくのかについて、 具体的な実践例を基に学ぶことができました。



・中学校区内の小・中学校の全教員で、拠点校の取組事例を参考に 小中連携によるメリットを確認したり、自分たちの中学校区の実 態に合わせた小中連携の取組を考えたりする研修を行いました。

小中連携の意義や効果、取組の実践例を知ることができました。それぞれに連携強化の必要性を認識し、連携推進の意識を向上させることができました。事前の打合せをすることで、当方のニーズに合った充実した研修となりました。



B 全国学力・学習状況調査の問題分析・結果分析を基に

#### 研修メニュー

- ①「特徴的な問題」を活用した調査問題の分析と解説 ②分析支援ソフト等を活用した調査結果の分析と解説
- ③調査問題、調査結果を生かした授業改善

### 【これまでの研修例】

・教務主任、研究主任と6学年担任で、全国学力・学習状況調査 の分析を基に、児童の発達の段階に応じた授業改善の方策と調 査の分析結果の家庭への周知の仕方について考えました。

「記述問題での誤答が多い点」について、指示語や主述関係の理解不足、 絵や図を使った説明の積み重ね等が、本校の課題としてはっきりしました。 これらの課題を共通理解し、具体的な取組を考えていこうと思います。



・市内の全小・中学校の教務主任と研究主任の先生方で、市の児 童生徒の全国学力・学習状況調査の結果の分析を基に、指導改 善のための手立てを考えました。

課題のみられた問題と指導改善のポイント、明日からの授業づくりについて、具体例を基に考えることで理解が深まりました。自校の児童生徒の学力向上に向けた今後の取組の参考になりました。

・学校の全教員で、全国学力・学習状況調査問題を活用して「今 求められる資質・能力」の共通理解を図りました。

本校の課題が明確になり、どんな力をどのように付けていけばよいかを 全員で考える機会になりました。本校の研修テーマと関係付けて研修会を 設定したことで、授業改善に向けて共通理解を図ることができました。



# C 授業研究・授業分析を基に

#### 研修メニュー

- ①「授業の達人DVD」を活用した授業分析 (若手研修、部会研修等)
- ②「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- ③「対策のヒント」「授業アイディア例」を活用した授業改善

## 【これまでの研修例】

・学校の全教員で、全国学力・学習状況調査の問題場面を参考に、学年間をまたぐ系統性や単元構想を重視した授業づくりについて、ワークショップを取り入れ、日頃の授業を振り返りながら協議しました。

目標を達成するための教材研究や単元構想の大切さを学びました。また、90分コースでとても充実していました。また、ぜひ機会を設けたいです。



・学校の全教員、または若手教師の部会等で「授業の達人D VD」の一部を視聴し、気付いたことを付箋に書き、学び 合いの進め方や授業のポイント等について協議しました。





ペアやグループで意見交換したことで、それぞれの実践や考えを 積極的に伝え合うことができました。また、達人の授業を視聴し、 達人ならではの手立てを見付け、共有し、自分の実践にどう生かす かを考えることができました。



学校や市町村教育委員会等の要望に応じて、下記のような利用も可能です。

市町村教育委員会主 催の**研修**、中学校区単 位での**若手教員研修会** 等 管理職や教務主任、研究主任による、自校の全国学力・ 学習状況調査の結果分析・課 題把握の相談等 教務主任、研究主任等を対象に した、学校や児童生徒の現状や研 修題に応じた学力向上のための研 修会のもち方の相談等 アラカルト研修を利用してみ ませんか?



研修のご要望、ご相談があれば、下記までお気軽にご一報ください。 【連絡先】富山県総合教育センター 学力向上推進チーム

TEL 076-415-6226